

～TANKYU～

谷地南部小学校
校内研究だより
2022. 12. 7
No.40 文責 伊藤

採点・直しどうしていますか？

子ども達の学習を見取って評価するために、形成プリントやワークプリント、ワークテストなど様々なものを日々使っているかと思います。先生方は、その後どうしますか？プリント類は、学年の発達段階に応じては各自で採点や直しをして、そのまま持ち帰りまたは点検をしているのではないかなと思います。宿題などで取り組んでいるドリル等も同じでしょうか。3年生の場合は、子ども達の手元に答えがあって自分で確認できるものに関しては、自分で丸付けをして直しまですることになっています。その方が、すぐに間違いに気づいて、記憶の新しいうちに正しい考え方や答えを上書きできると考えているからです。

それでは、子ども達が自分で丸付けできないものやワークテストなどはどうでしょうか？先生方が丸付け・採点をすることが多いのではないのでしょうか。私が知りたいのは、そこです。正答であれば、大々的に丸をつけてあげればいいと思います。誤答の時は？チェックマーク（✓）をつける人。何もつけないでスルーする人。私は、最近△をつけるようになりました。誤答ではあるけれど、何とかして書こうとしたのだなと思うと、一概に「✓」をつけてしまうのも可哀想かなと思ったからです。評価する場面なのだから、毅然とした対応でいいのかもしれない。あいまいな印では、逆に子ども達には悪影響なのかもしれません。

また、直しはどうでしょうか？消しゴムで消して直しですか？直すときは、鉛筆・赤・青、どの色でやることにしていますか？何回書きますか？私は以前、「間違っただけを覚えなおす（更新する）ためには、3回くりかえすとよい」ということを聞いたことがあるので、間違いを残したまま近くに赤で3回正しい答えを書くようにしていました。もちろん、文章解答などはその限りではありませんし、間違いの種類に合わせてではありますが…。

上に書いたようなことは、そんなに気にすることでもないし、各自でやりたいようにやっていたらいいのだと思います。でも、本校の「主体的な学び」や学校でも育成し評価することが求められている「学びに向かう力」を追求するためには、こういった部分でもより良い方法を考えられるといいのかなとも思います。もちろん、学校として統一する必要まではないと思います。まだまだ青い私に、先輩方のお知恵を授けてください。

